

平成30年度 指定管理施設運営状況評価表

1. 施設の概要

施設の名称	むつ市海と森ふれあい体験館	
指定管理者	団体名	NPO法人シェルフオレスト川内
	代表者	五十嵐 健志
	所在地	むつ市川内町川内477番
指定期間	平成30年 4月 1日 ~ 平成33年 3月 31日 (3年間)	
指定管理業務の概要	むつ市海と森ふれあい体験館の管理運営業務	

2. 収支の状況 ※消費税及び地方消費税を含んだ額を計上すること。

単位：千円

区 分	計 画 額 ①	実 績 額 ②	増 減 (②-①)
収入合計 (A)	15,688	13,506	△2,182
うち利用料金額	150	102	△48
うち指定管理料	15,538	13,404	△2,134
支出合計 (B)	15,688	12,280	△3,408
うち人件費	12,552	7,565	△4,987
収支差 (A-B)	0	1,226	1,226
市への納入金	0	0	
計画額と比較した実績額の増減理由	予定人員数の変更により後期に指定管理料の減額を行った。また、納税、決算等のために管理料予算に占める人件費、管理費等の削減に努めたため。		

3. 施設利用の状況

単位：人

利用者数	区 分	計 画 ①	実 績 ②	増 減 (②-①)
	館内および館外活動での利用者	9,000	7,667	△1,333
利用者の声とその対応状況 ※利用者アンケートの実施 (有)・無 むつ市民のみならず県内外からの自然体験等での来館者、テレビ・ラジオ番組、講演・展示会などを通じた教育・広報、また他の社会教育機関や大学・研究所等との連携事業、イルカ事業や小学生の授業指導による学会発表などの広範な活動に対して評価を受けている。イルカ観察会など野外での活動が昨年が増えて多かった。				

4. 自主事業の実施業況

単位：人、千円

事業名	利用者数	収 入	支 出
自然教育プログラム	学校・団体等	—	—
大学、浅虫水族館との事業や調査研究の連携	—	—	—
教育用動画「陸奥湾のカマイルカたち」制作	—	0	480

※上記以外の自主事業に関しては、事業報告書を参照のこと。

5. 個別項目評価 ※指定管理者と市の所管課が評価（A：優良 B：適正 C：改善要）

評価項目	自己評価	市の評価
(1) 施設設置目的に添ったサービス向上に関する取組み状況		
①館時間、休館日等を守り、施設利便性の確保に努めたか。	B	B
②施設の使用許可、使用料減免等が適正、円滑に行われたか。	A	A
③利用者に対する接客マナー等、職員の勤務態度は適正だったか。	B	B
④利用者の意見を聴取し、それらを反映する取組みを行ったか。	A	A
(2) 利用促進に関する取組み状況		
①施設利便性を高める努力を行い、効果が得られたか。	A	A
②潜在的な利用者等に営業広報活動を行い、利用アピールをしたか。	A	A
③自主事業を企画・実施し、効果が得られたか。	A	A
(3) 効率性の向上に関する取組み状況		
①施設管理経費を低減するための取組みを行い、効果があったか。	A	A
②収入増を図るための取組みを行い、効果があったか。	B	B
③職員の資質・能力向上を図る取組みがされたか。	B	B
(4) 施設の適正な維持・管理に関する取組み状況		
①施設の維持管理、運営に当たる人員配置は適正であったか。	B	B
②設備・備品の維持管理及び修繕が適切に行われたか。	A	A
③労働関係法令等を遵守し、適正な管理を行ったか。	A	A
④利用料金の收受及び施設管理経費の支出は適正であったか。	A	A
(5) 平等利用、安全対策、危機管理等に関する取組み状況		
①利用者が平等に利用できるよう施設利用情報提供に配慮したか。	A	A
②日常の事故防止等の安全対策は適切であったか。	A	A
③防犯、防災対策等の危機管理体制は適切であったか。	A	A
④利用者の個人情報保護は徹底されていたか。	A	A

6. 指定管理者総合評価

今年度も限られた予算の中においても休日も削り最大限の工夫と努力により、館内外の様々な活動に尽力した。例えば、県営浅虫水族館との事業連携、大学等との学術調査研究と小学校での授業および学会発表、青森県の各種事業への協力、メディア（青森県のニュース番組やNHKラジオなど）で陸奥湾の生物や体験館を紹介することで、市内外の多様な方々の参加・来館を得ることができた。さらに、下北の自然に関する講演、自然観光・ジオサイトのガイド、青森県の各種委員会（内水面漁場管理委員等）などの活動によって地域社会に貢献した。また、陸奥湾のイルカに関する調査・教育活動は、むつ市の地方創生事業に貢献している。

7. 市の所管課総合評価

ジオサイトガイド、イルカに関する調査、そして昨年9月に開催された日本ベントス学会において、川内小学校児童がウミナラの生態に関する発表を行うなど、館の教育、地域貢献度は高いと思われる。また、メディアに取り上げられることにより、県内外問わず注目度も高くなっている。その成果は、順調に利用者数が伸びていることにも現れている。

今年度も、利用者の安全管理を第一に質の高いサービスの提供をしていただきたい。

